

ファイル仕様書 留意事項

1 印刷ファイルの仕様について

CSV 形式。英数字項目、日本語項目の場合はダブルコーテーションで囲まれている。ヘッダ、トレイラは無く、印字データのみ。空白を削除した可変長で、記載の文字数を超えて文字が設定されることはない。

2 利用するフォントについて

IPAmj 明朝および、市提供の外字ファイル。(IPAmj 明朝フォントおよび外字フォントは市から提供する。)

3 ファイルのエンコードについて

UNICODE (UTF-16 Big Endian)、BOM なし。サロゲートエリアの利用はあるが、IVS の利用はない。そのため、1 文字は 2 バイトもしくは 4 バイト (サロゲート文字) で表せる範囲の利用となる。

4 文字の規格について

0 面以外のコード領域 (1 面~16 面) を含む Unicode ※サロゲートエリア (U+10000 ~ U+10FFFF) を使用。外字は BMP の U+E000~U+F8FF (6, 400 文字) のみ使用。

5 カスタマバーコードについて

郵便番号 (7 けたの 0~9) + 住所番号 (13 けたの A~Z, ハイフン, スペース) + チェックディジット (2 けた) (印字時にはスタートコード及びストップコードの付加が必要となります。)

6 コンビニバーコードについて (納付書のみ)

GS1-128 規格のデータ 44 文字と、目視文字 (1 段目 33 文字、2 段目 17 文字) をそれぞれ別項目で設定。